

# 財政状況の公表（令和元年度上半期）概要

各計数は、原則として表示単位未満四捨五入のため、合計等に一致しないことがあります。

## 令和元年度予算のあらまし 一般会計「1号補正」と「2号補正」の概要

補正額 39億1,845万4千円

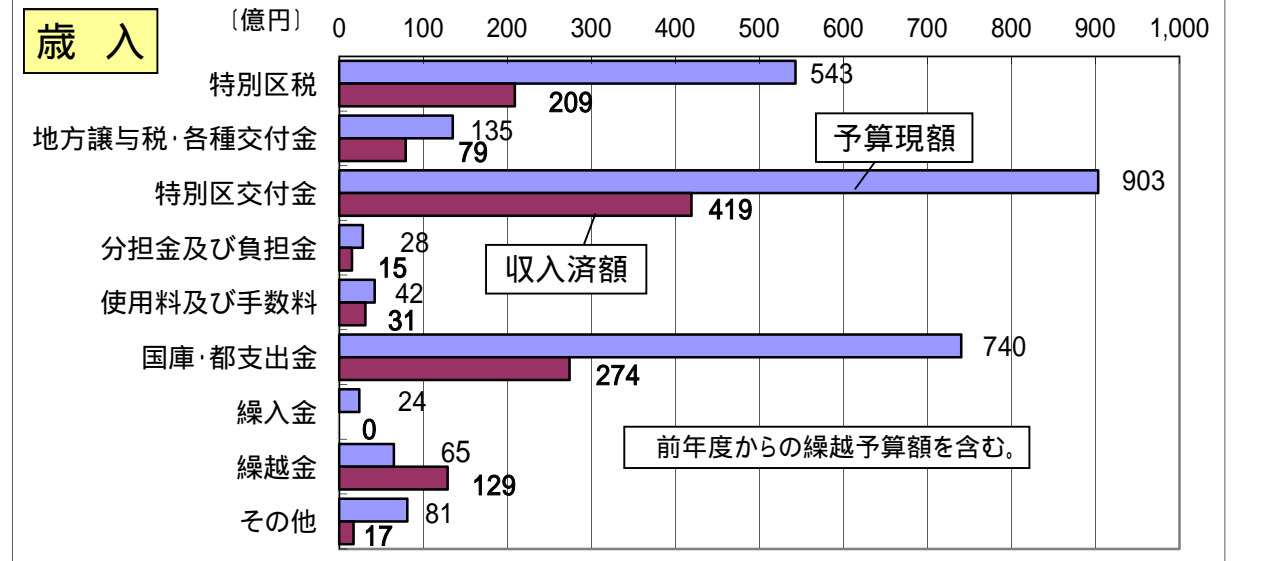
<歳入>

諸収入	21億6,256万円
国庫支出金	11億1,509万3千円
繰越金	5億9,717万円
財産収入	1,442万3千円
寄付金	1,418万円
都支出金	770万円
その他	732万8千円

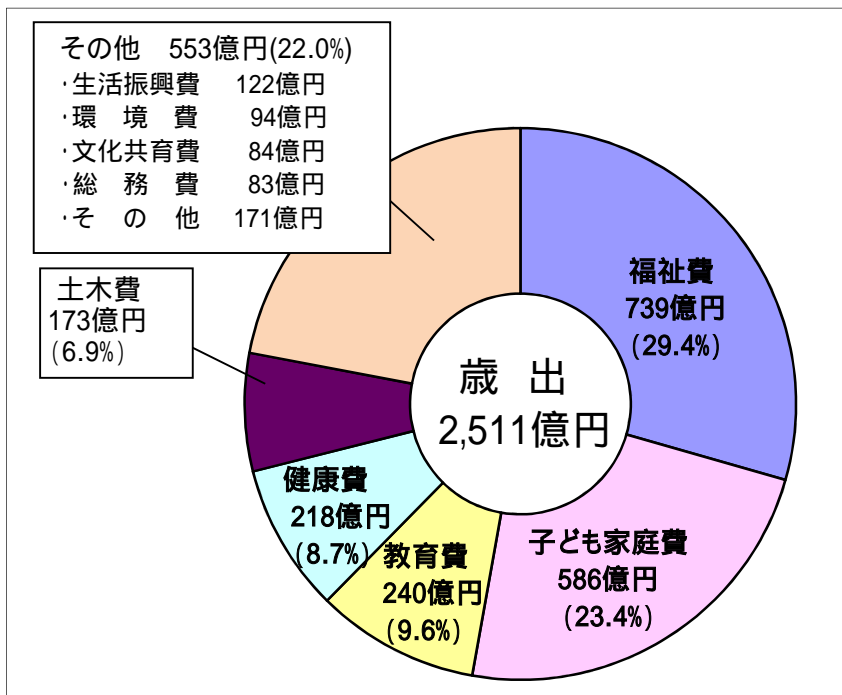
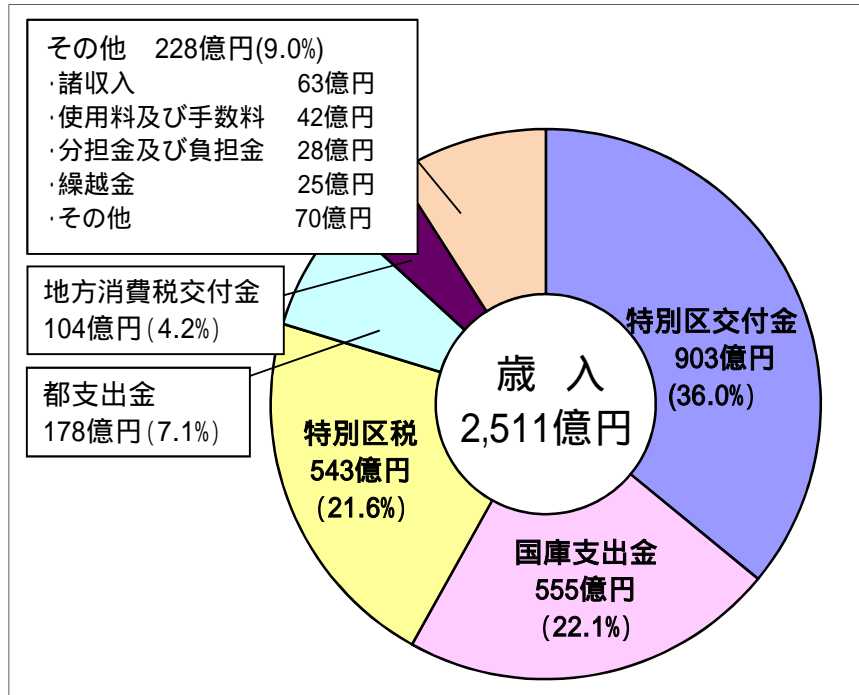
<歳出>

プレミアム付商品券事業費	27億101万3千円
(プレミアム付商品券換金経費等)	
プレミアム付商品券事業費	5億4,443万3千円
(プレミアム付商品券事業の事務経費)	
児童相談所建設費	1億4,726万9千円
(開設用備品購入費等)	
一般職の給与費(子ども家庭支援センター)	1億4,447万6千円
(組織改正に伴う給与費の追加)	
その他	3億8,126万3千円

## 令和元年度予算の執行状況 一般会計(令和元年9月30日現在)

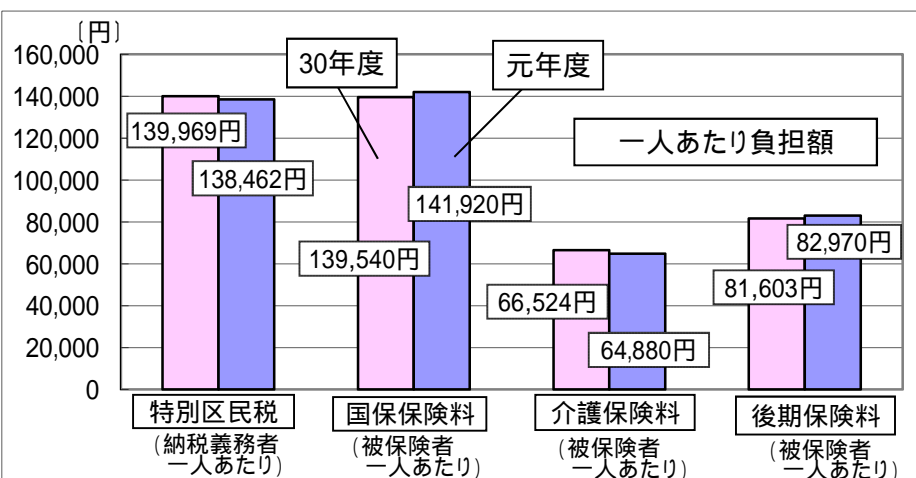


### 補正後の一般会計予算の構成

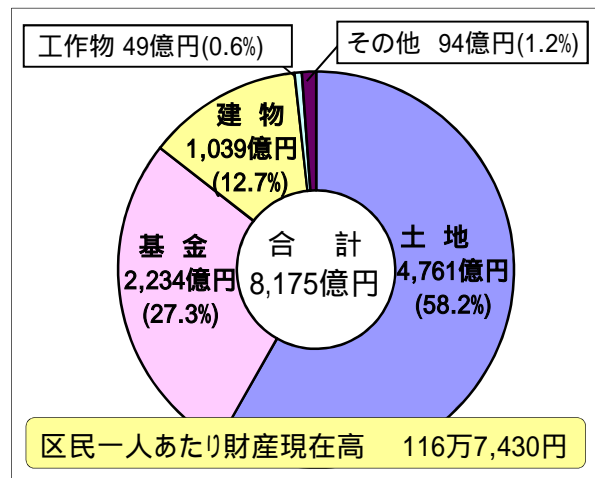


江戸川区の人口(住民基本台帳人口 外国人を含む) 700,296人(令和元年10月1日現在)

### 区民の負担概況 (令和元年9月30日現在)

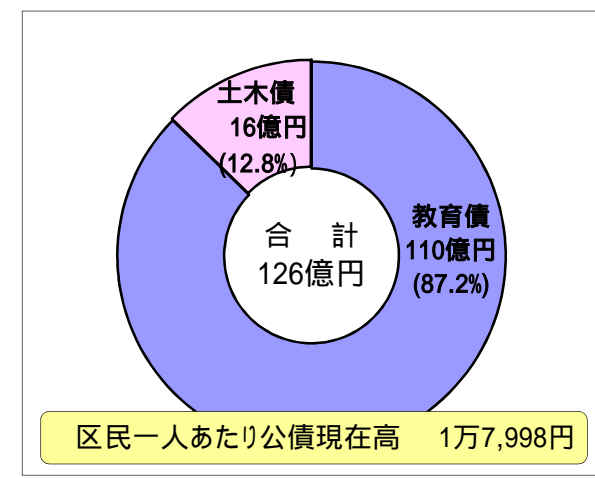


### 財産の現在高 (令和元年9月30日現在)



基金とは...  
 積立基金と運用基金の2種類があります。左の基金は、この2つの合計です。  
 積立基金は、家計でいうと貯金です。災害発生時や老朽化した施設の改築等への備えで、9月末現在高は2,029億円です。  
 運用基金は、一定額の基金を土地取得等のために運用するもので、205億円あります。

### 公債の現在高 (令和元年9月30日現在)

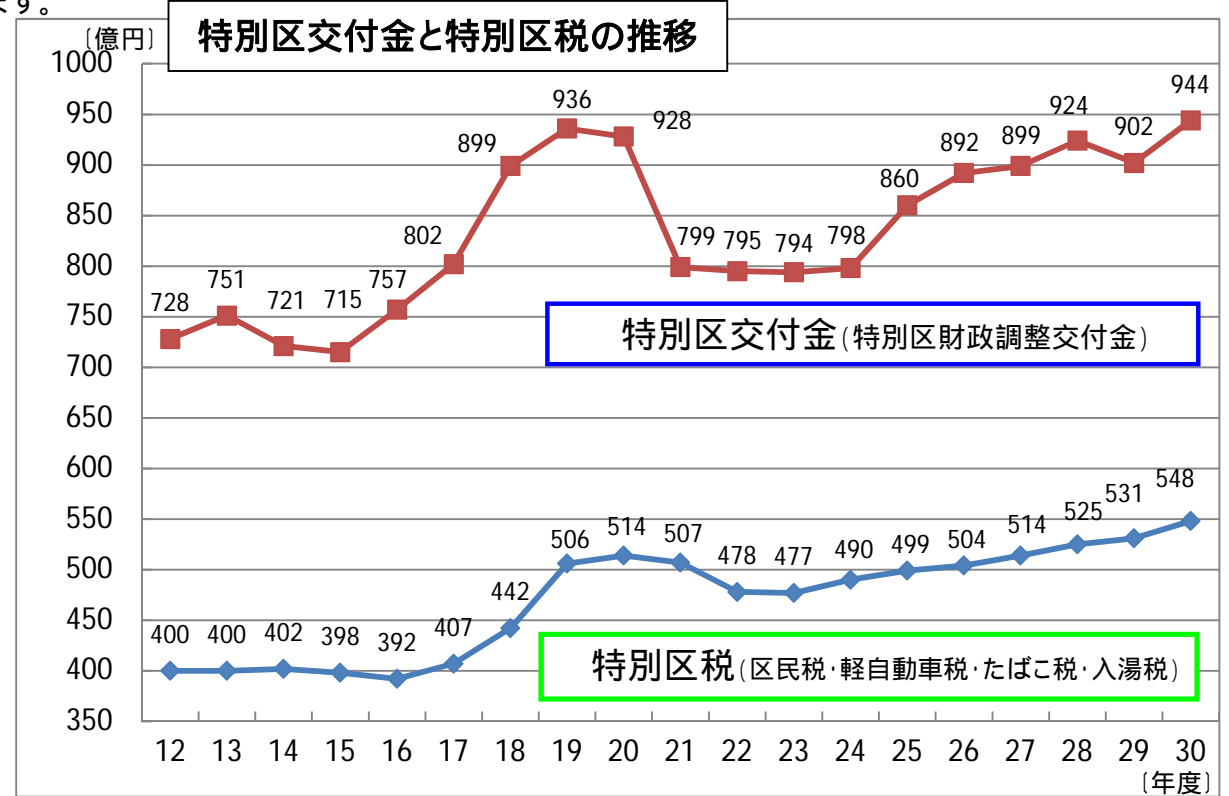
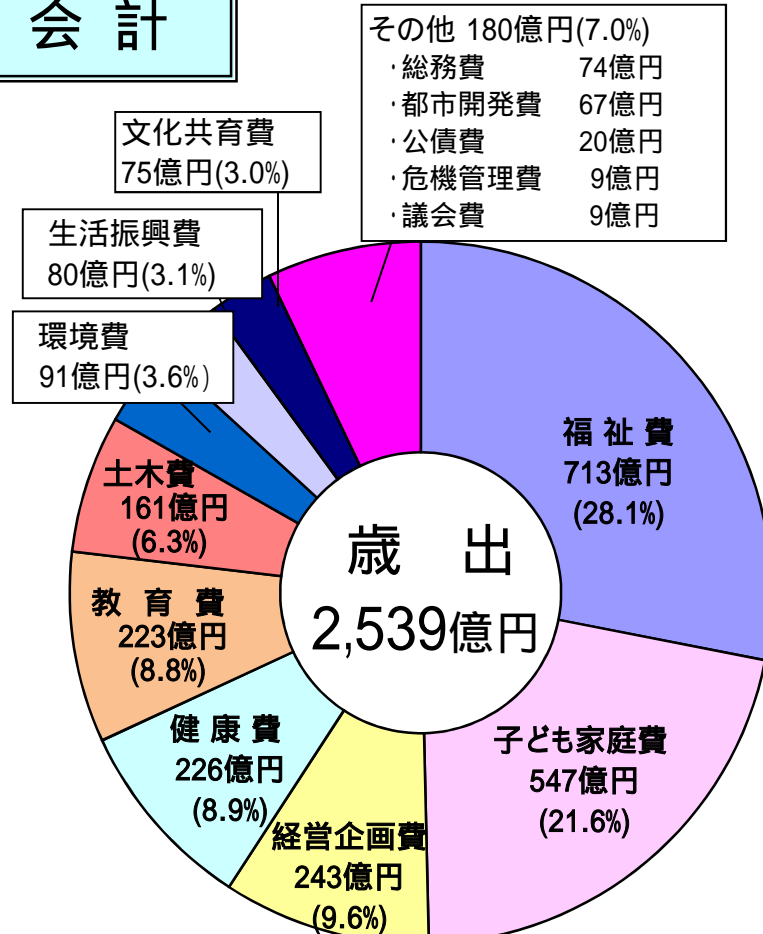
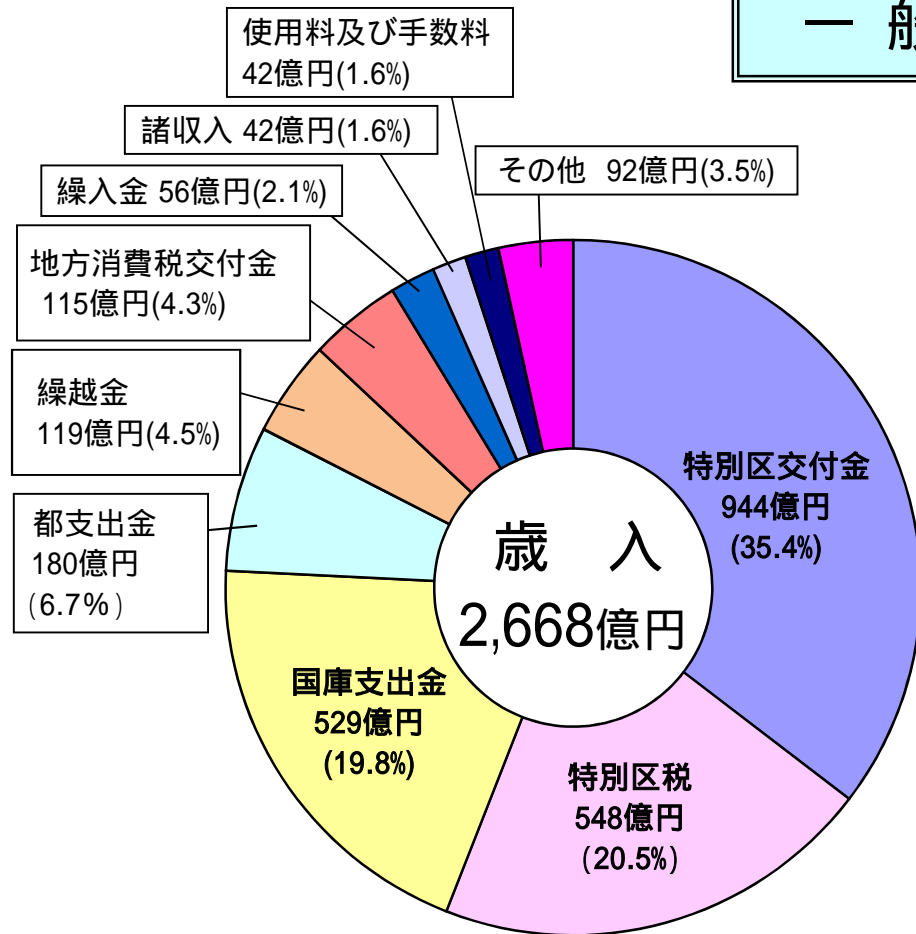


公債(区債)とは...  
 家計でいうと住宅ローンなどの借金です。  
 道路整備や学校の改築など、いくつかの世代にわたって利用することのできる施設について、将来の区民の方々にもその費用の一部を負担していただくため、公債(区債)を借入れ、負担の公平を図っています。

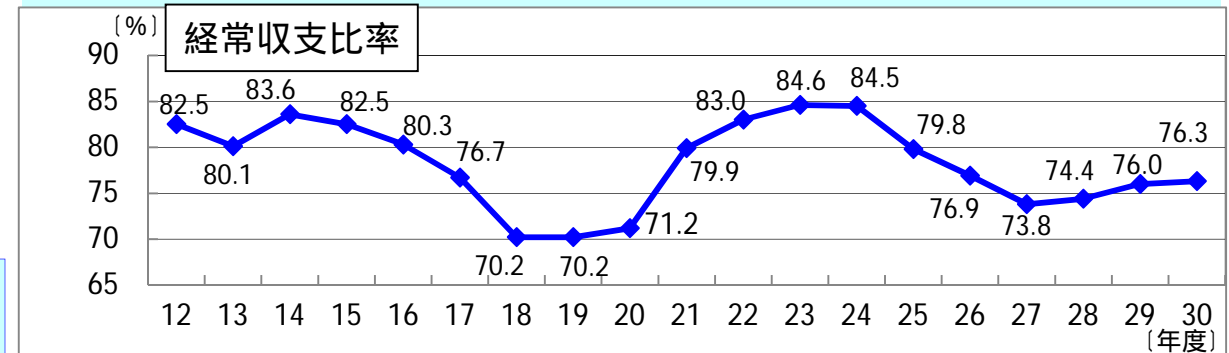
# 平成30年度 決算の概要

各計数は、原則として表示単位未満四捨五入のため、合計等に一致しないことがあります。

## 一般会計

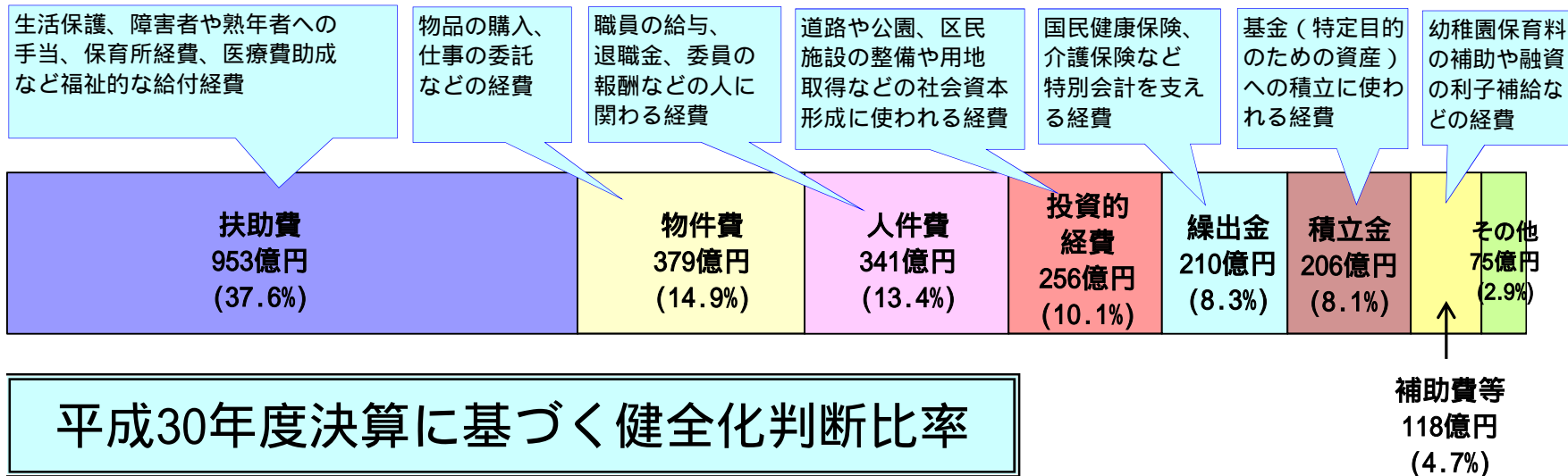


特別区交付金と特別区税は、地方法人課税の一部国税化やふるさと納税制度等による影響を受けているものの、日本経済のゆるやかな景気回復等により、増加傾向にあります。



財政構造の弾力性を計る指標で、適正水準は70%～80%です。平成30年度は、前年度から0.3ポイントの上昇で6年連続適正水準となりました。

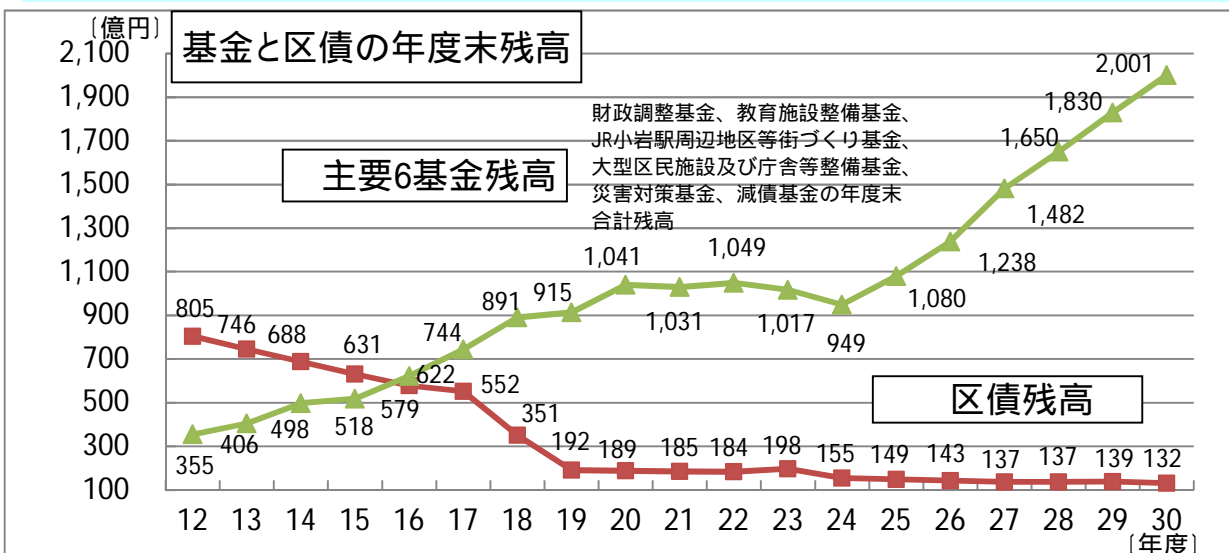
## 歳出の性質別内訳



## 平成30年度決算に基づく健全化判断比率

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
江戸川区	-	-	5.8%	-
早期健全化基準	11.25%	16.25%	25.0%	350.0%

表中の「-」はマイナス値を表し、平成30年度決算が黒字であったことと、将来負担すべき額よりも基金(貯金)の方が多く、将来負担比率の該当がなかったことを示しています。なお、実質公債費比率がマイナスの場合は「-」と表示しています。早期健全化基準とは、この数値を超えると財政が危険な状態であることを示す、国が定めた指標で江戸川区の場合の指標を記載しています。



主要6基金残高は、前年度より171億円の増加で2,001億円となりました。なお、その他積立基金、運用基金を合わせた金額は2,242億円となりました。区債残高は、前年度より7億円減少し、132億円となりました。